平成●●年●月●日

様式１

入　札　書

関西電力株式会社

　代表取締役副社長　土井　義宏　宛

会社名　　　　　●●株式会社

代表者氏名　 ●●●●　　印

　関西電力株式会社が公表した「平成28年度電源Ⅰ’厳気象対応調整力募集要綱」を承認し、下記のとおり入札いたします。

|  |  |
| --- | --- |
| １　電源等所在地および名称 | ●●県●●市●●番　●●発電所●号機 |
| ２　電源Ⅰ’厳気象対応調整力契約電力（送電端値） | ●キロワット |
| ３　運転継続時間 | ●時間連続可能 |
| ４　年間計画停止日数 | ●日間停止予定 |
| ５　電源Ⅰ’厳気象対応調整力提供可能時間 | ●時～●時  （厳気象対応準備時間（9時～20時）の間） |
| ６　年間料金 | ●円 |
| ７　入札価格（年間料金÷電源Ⅰ’厳気象対応調整力契約電力） | １キロワットあたり　　　●円　　●銭 |
| ８　当社からの指令方法 | オンライン　・　オフライン  （該当するものを○（マル）で囲む） |
| ９　指令受信から調整実施までの時間 | ●分  （３時間（１８０分）以内） |
| 10　厳気象対応調整発動可能回数（希望） | ●回（１２回（または１８回）以上） |
| 11　非価格要素評価 | 合　計　　　　　　　　　　●点  加点項目  　　１（加点要素１）　　　　●点  　　２（加点要素２）　　　　●点 |
| 12　他の応札との関係 | |  |  |  | | --- | --- | --- | |  | 重複入札 | 複数入札 | | 電源Ⅰピーク調整力 |  |  | | 電源Ⅰ需給バランス調整力 |  |  |   （該当するものに○（マル）をつけてください。） |
| 13　落札した場合、kWh契約として締結いただける契約 | ・電源Ⅰ・Ⅱ調整力契約  ・電源Ⅰ需給バランス調整力（kWh）契約  ・電源Ⅰ´厳気象対応調整力（kWh）契約  （該当するものに○（マル）をつけてください。） |

応札者の概要

様式２

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | ●●株式会社 |
| 業種 | ●● |
| 本社所在地 | ●●県●●市●●町●●番 |
| 設立年月日 | 平成●●年●●月●●日 |
| 資本金（円） | ●,●●● |
| 売上高（円） | ●,●●● |
| 総資産額（円） | ●,●●● |
| 従業員数（人） | ●,●●● |
| 事業税課税標準 | 収入金課税　・　所得課税 |

（作成にあたっての留意点）

○業種は、証券コード協議会の定める業種別分類(33業種)に準拠してください。

○契約主体が、合弁会社の場合や契約後に設立する新会社である場合は、代表となる事業者に加えて関係する事業者についても、本様式を提出してください。また、あわせて会社概要を示した資料（パンフレット等）を添付してください。

○資本金、売上高、総資産額、従業員数は、直前の決算期末の値（単独決算ベース）を記入してください。

　なお、契約後に新会社等を設立する場合は、契約時点で予定している資本金等を可能な限り記入してください。

○契約者が適用する事業税課税標準について、○（マル）で囲んでください。

電源等の仕様（火力発電機）

様式３－１

１．発電機の所在地

（１）住所　　　　　　●●県●●市●●町●●番●

（２）名称　　　　　　●●火力発電所　●号発電機

２．営業運転開始年月日　　　平成●●年●●月●●日

３．使用燃料・貯蔵設備等

（１）種類 　　　　　　●●

（２）発熱量 　　　　　　●●（kJ/t）

（３）燃料貯蔵設備　　　　　総容量 ●●●（kl)

　　　タンク基数 　　　　● 基

　　　備蓄日数 　　　　● 日分（100％利用率）

（４）燃料調達計画

４．発電機

（１）種類（形式） 　　　　　 ●●●●

（２）定格容量 　　　　　 　　　　●●●　kVA

（３）定格電圧 　　　　　　　　　 ●●　kV

（４）連続運転可能電圧(定格比）　 ●●％　～　●●％

（５）定格力率 　　　　　　　　　 ●●　％

（６）周波数 　　　　　 　 　60　Hz

（７）連続運転可能周波数　　　　 　●●Hz　～　●●Hz

５．熱効率（LHV)、所内率

（１）発電端熱効率　　　●● ％

（２）送電端熱効率　　　●● ％

（３）所内率　　　　　　 ● ％

○発電機の性能（発電機容量、厳気象対応調整機能に必要な信号を送受信する機能（オンラインでの応札者に限ります。））を証明する書類を添付してください。

電源等の仕様（水力発電機）

様式３－２

１．発電機の所在地

（１）住所 　　　　●●県●●市●●町●●番●

（２）名称　　　　　 ●●水力発電所　●号発電機

２．営業運転開始年月日　　平成●●年●●月●●日

３．最大貯水容量　　　　　　●●（10³㎥）

４．発電機

（１）種類（形式） 　　　　　　●●式

（２）定格容量 　　　　　　　　　　●●●● kVA

（３）定格電圧 　　　　　　　　　　●● ｋV

（４）連続運転可能電圧（定格比）　　●●％　～　●●％

（５）定格力率 　　　　　　　　　　●● ％

（６）周波数 　　　　　　　　 60 Hz

（７）連続運転可能周波数　　　　　 ●●Hz　～　●●Hz

５．所内率　　　　　　● ％

○発電機の性能（発電機容量、厳気象対応調整機能に必要な信号を送受信する機能（オンラインでの応札者に限ります。））を証明する書類を添付してください。

電源等の仕様（ＤＲを活用した電源等）

様式３－３

１．アグリゲータの所在地

（１）住所　　　　　　●●県●●市●●町●●番●

（２）名称　　　　　　●●

２．アグリゲータが、一般送配電事業者以外に、需要抑制により生じる供給力を提供するか否か

　　　・本要綱にもとづく一般送配電事業者への提供のみを実施する

　　　・一般送配電事業者以外の小売電気事業者へも提供する

　　　（該当するものを○（マル）で囲んでください。）

３．アグリゲータが集約する需要家等の一覧

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 電源等名称 | 住所 | 契約  責任者 | 供出電力  （kW） | 電源等種別 | 具体的方法 | 契約者からの指示手段 | 電源設備または負荷設備の仕様 |
| Aaa | \*\*\*\*\* | ○　○○ | △△kW | （自家発等）電源  ・  需要抑制 | 工場ラインの一部停止 | 電話連絡・運転員手動遮断 | 使用目的：●●のための××を製造するためのライン  工場内総容量：○kW、　受電電圧：○kV  （今回遮断対象の）常時負荷容量：●kW　、遮断点電圧：●V、常時負荷力率：□ |
| Bbb | \*\*\*\*\*\*\* | ●●　● | ■■kW | （自家発等）電源  ・  需要抑制 | 自家発の起動 | オンライン（※）自動起動 | 使用目的：非常時所内電力供給用自家発  工場内総容量：○kW、　受電電圧：○kV  （今回起動対象の）電源容量：●kW　、接続電圧：●V、常時運転状態：常時運転/停止 |
| Ccc |  |  |  | （自家発等）電源  ・  需要抑制 |  |  |  |

○アグリゲータが集約する需要家等の電源等種別について、○（マル）で囲んでください。

電源等の運転実績について

様式６

○電源Ⅰ’厳気象対応調整力を供出する電源等の運転実績（前年度実績）について記入してください。

（ＤＲを活用して応札される場合、当社との瞬時調整契約の実績や、ＤＲ実証事業\*などへの参画実績等を記載ください。）

\*一般社団法人新エネルギー導入促進協議会が公募したH26年度次世代エネルギー技術実証事業費補助金（補正予算に係るもの）のうち、「Ｃ．エネルギーマネジメントシステムの構築に係る実証事業、Ｃ－１．ネガワット取引に係るエネルギーマネジメントシステム構築と実証」、および、一般財団法人エネルギー総合工学研究所が公募した（H28年度）バーチャルパワープラント構築実証事業のうち、「Ｂ．高度制御型ディマンドリスポンス実証事業、Ｂ－１．一般送配電事業者が活用するネガワット取引の技術実証」を指します。

※運転実績等のない場合は、本要綱で求める要件を満たしていることを証明できる書類ならびに試験成績書を提出してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 電源等名称 | ●●発電所 |
| 出 力／総使用量 | ●●,●●●●キロワット |
| 営業使用開始年月 | 昭和 ・ 平成　　●●年 ●●月 |
| 運 転 年 数 | ●●年 ●●ヶ月 (平成●年●月末時点) |
| 総発電電力量／総使用電力量 | ●●,●●●キロワット時(平成●年●月末時点) |
| 設備利用率※ | 約●●％ |

　※ＤＲを活用して応札される場合は、記載不要です。

○定期検査の実施実績について記入してください。

|  |
| --- |
|  |

運用条件に関わる事項

様式７

|  |  |
| --- | --- |
| 運転継続時間 | ※運転継続時間に制限がある場合には、運転継続時間とその理由を記入してください。 |
| 計画停止の時期  および期間等 | ※契約期間内における定期検査等の実施時期や、その期間を記入してください。また、実施時期を限定する必要がある場合は、その旨についても記入してください。  ※定期検査等の他に、設備都合による作業停止や出力抑制が必要な場合は、実施インターバル、期間および内容について記入してください。 |
| 運転管理体制 | ※当社からの指令や連絡に対応するための運転管理体制（運転要員、緊急連絡体制等）について記入してください。 |
| 給電指令対応システム | ※当社からの指令に応じるためのシステム概要について（オンライン・オフライン共）記入してください。（信号受信装置から発電設備等の出力制御回路までの連携方法等。なお、ＤＲを活用して応札される場合は、アグリゲータが当社からの信号を受信し、個別需要家等への指令を行なうまでの方法も含めて記入してください。） |
| その他 | ※その他、起動や解列にかかる制約（同一発電所における同時起動制約）、条例による制約等、特記すべき運用条件等がありましたら、記入してください。 |